

4

広島少年合唱隊

'63

第4回 定期演奏会

# 広島少年合唱隊

と き 1963年11月3日(文化の日) PM.6.30  
と ころ 広島市公会堂  
主 催 広島少年合唱教室後援会

後 援 広島市教育委員会  
広島市小学校音楽研究会  
中国新聞社  
広島中央放送局  
ラジオ中国  
広島テレビ





広島少年合唱教室委員長 真木賢三

広島市にも少年合唱隊の一つくらいあってよいのではないかと、合唱教室を作り鋭意練習に励んできましたが、ことしはもう4年目の歩みということになりました。

今回合唱教室後援会の主催で第4回の公演を開催することができますことは、わたくしのもっとも大きな喜びであります。

今回の公演では、後援会のかたがたの平素からかわらぬ御後援と、指導委員の先生の献身的な努力、また隊員諸君のまじめな勉強と三者一致の成果に対し、感謝もし、またひそかな自負と期待とを持つものでありますが、他面本年入隊した新隊員もいることで、一まつの危惧も抱いています。

皆さん、この少年合唱隊を将来大きく育ててやろうという思召しで、どうぞ暖い御批判や御教示をお願い申し上げます。

以上ごあいさつに代えます。

広島少年合唱教室後援会長 大石行円

広島少年合唱隊の第4回定期演奏会を迎えることになりました。隊員たちは楽しく苦しい練習の中で小さい胸をおどらせながらその日の来るのを待ちこがれていることでしょう。わたくしは少年のころも歌は好きでした。しかし楽しい歌の思い出はわたくしたちおとなにはあまりなかったのではないかと思います。

隊員たちがやがておとなになった時、みんなそれぞれに楽しかった歌の思い出があることでしょう。わたくしたち後援会のものたちは少年たちになつかしい思い出を残してやるために努力しています。

この春に19名の卒業生を送りました。こうして年々広島少年合唱隊を巣立っていった少年たちがやがておとなになって、その子どもが合唱隊にはいつか来ることを夢んでいます。『歌声ひびけば』世の中を明るくすることでしょう。

この演奏会のために物心ともに御援助いただいたかたがたに後援会を代表しまして感謝のことばを捧げましてごあいさつのことばとします。

演奏します隊員たちに大いなる拍手を送ってやってください。

顧問 広島市教育長 盛岡幹造

スポーツの秋、芸術の秋、勉強の秋と、人々は一年の間鍛え蓄積したすべての自分たちの力を存分に発揮して、秋晴れの清々しい気分を味わい、次への飛躍の土台とします。

少年合唱隊の発表会も、広島市民の待望の一つの行事となりました。これは平素諸君のたゆまぬ精進の成果であると深く敬意を表します。皆さんの一つに和した清らかな、美しい心と歌声は、今や広島市民とは切っても切れない存在となりました。すなわち広島の行事の歌のあるところに、必ず統制のとれた清楚な少年合唱隊の姿が見られ、荒み勝ちなおとなたちの心を和らげてくれます。

幾多の苦難を乗り越えて、今日をあらしめた先輩に続いて、さらにりっぴな歴史を築かれ、少年の意気と、日本少年の誇りを声高らかに合唱しつづけられるよう祈ってやみません。

顧問 エリザベト音楽大学教授 太田司朗

第4回広島少年合唱隊定期演奏会を開催されることを心からおよこび申し上げます。

わたくしはこの演奏会を毎年聴くことができるのを楽しみにしています。それは、合唱団を作ることはやさしいことですが、それを継続することの困難をじゅうぶんに知っているからです。このことがその第一の理由で大いに賞讃に値します。

次にこの合唱隊は常に成長しつつあることです。これは過去3年の成果で立証されています。今回昨年以上にさぞりっぴになっているでしょう。

もう一つたいせつなことは、隊員のひとりひとりが純心で、かわいく、いわゆる「豆天才振り」を発揮しないところです。これはひとえに後援会のかたがたならびに指導にあたる先生の適切な指導によるものと確信いたします。その点大いに敬服しています。願わくば、創立の精神を失うことなく、ますます御自重あって、平和広島シンボルとして香り高い合唱隊に成長されるよう祈ります。

顧問 県教委指導主事 梶山逸夫

この度文化の日になんで、第4回の定期演奏会が開かれることをききうれしく思いますし、心からおよこび申し上げます。

この演奏会において、皆さんの美しい清純な歌声が、きき手心をなぐさめてくれるとともに、深い感銘を与えてくれることでしょう。広島市で生まれたこの合唱隊が、今日では広島市内をはじめ、県内はもとより県外の多くの方々にもまで知られ、これらのひとびとがこの力強い歩みをたたえています。こうした今日の姿までに至るには、熱心でしかも親切に指導して下さる諸先生方の力と、皆さんのたゆまない努力のたまものだと思います。

歌うことは一人でも楽しいものですが、多勢の声が指揮者の指示に従いがい、ひとつ心になって作り出される合唱のよさは格別です。皆さんの生き生きとした明かるい歌声が水面になげた石の波紋のように、各地に広まって、歌を愛する少年少女やおとながもっとももっとふえることを楽しみにしたいと思います。

おわりに、平和都市広島が生んだ少年合唱隊が、今後ますます発展されることを願っておいわいのことばとします。

**MAZDA**  
**ファミリア**  
株式会社  
広島マツダ  
広島市 備前 43 TEL (21) 6131

5人乗り乗用車として  
400キロ積(2人乗)  
商業車として、あなた  
のセンスでお乗りくだ  
さい。あなたのアイデ  
アでお使いください  
用途の広い、ワゴンタ  
イプの自家用車です

**800CC**  
**42PS**



■ 指導者紹介



隊長 樋口 正司



寺西 秀夫



渡辺 富美



佐々木美恵子



吉田 泉



川島 敏子



辻 敏



森川 明水



鷹下 昭一



永柴 良暁



清水 源康

演奏会によせて

ビクター少年合唱隊指揮者 堤 温

定期公演としての連続発表公演会を心からお祝い申し上げます。

樋口先生を隊長として、市内の優秀な先生がたで固められた指導陣、それをさらに強く支持しておられる後援会、またこうした運動や演奏を、日に増し理解協力しておられる教育諸関係のかたがたや、一般市民のみなさま。広島少年合唱隊は、こうした恵まれた環境のもとにのびのびと成長しているのです。またこのような合唱隊は全国的にみても稀な存在であります。日本の広島というより、世界の広島といったほうが名声高いかも知れませんが、わたくしはこの少年たちの歌声できずかれていく、ほんとうの文化都市広島としての発展をこい願っています。

少年独得のハイヴォーチェもずい分澄んだ艶のある声になり、アンサンブルとしてのまとまりも美しく音楽的になっており、それにもっともたいせつなことは、広島独自の生きかた、ねらいというものが、この公演によってにじみ出てくるのではないかと思います。

少年たちの美しい純な歌声でみたされた、たのしい演奏会であることを祈りつつ、お祝いのことばにかえます。

(1963.10.19 東京にて)

広島の興産敷

広島からバスで1時間

岩倉温泉

番雲荘

佐伯郡佐伯町津田 電話友和(ゆうわ)370・371

市内案内所

四斗平

中の棚 電話21-9019

プログラム

1. 宗教音楽

- サルヴェ・レジーナ  
(Salve Regina)
- カンタータ「頌歌」より  
主よたのみていのる
- 「荘厳ミサ」より  
天使の糧を

グレゴリオ 聖歌  
メンデルスゾーン 作詞  
木岡英三郎 訳  
フ ラ ン ク

本科 A 組

指揮 鷹下 昭一  
ピアノ伴奏 吉田 泉  
オルガン伴奏 佐々木美恵子

2. 学校唱歌

- おどりの
- かねの音
- ねずみのかくれんぼ
- 星の世界

三島春男 作詞  
ドイツ民謡  
勝承夫 作詞  
外国民謡  
渡辺登世司 作詞  
佐々木すぐる 作曲  
福田美徳 作詞  
コンバース 作曲  
篠原正雄 編曲

予科 1 組

指揮 辻 敏子  
伴奏 川島 敏子

3. 世界の子供の歌

- アマリリス
- Ten Little Indians
- 雪と子供
- 野ばら
- メリーさんの羊

岩佐東一郎 作詞  
フランス民謡  
アメリカ童謡  
小林純一 作詞  
ノールウェイ童謡  
篠原正雄 編曲  
勝承夫 作詞  
ウエルナー 作曲  
平田誠 編曲  
久野静夫 作詞  
アメリカ民謡  
市川都志春 編曲

予科 2 組

指揮 森川 明水  
伴奏 渡辺 富美

4. わらべうた

- お江戸日本橋
- 手まりうた
- ずいずいずっころばし

わらべうた  
平井康三郎 編曲  
己斐草津地方わらべうた  
松本民之助 編曲  
日本古謡  
平井康三郎 編曲

本科 B 組

指揮 清水 源康  
伴奏 佐々木 美恵子

5. ドイツ民謡

- 楽しく歌え
- 牧場の乙女とかっこう
- 森のうぐいす
- 私は博士だ
- 眠りの精
- 警告

佐々木美恵子 編曲集

本科 B 組

指揮 寺西 秀夫  
伴奏 佐々木 美恵子

6. キャンプの歌

。ホ ラ ヒ ホ ラ ホ  
。ホルディリディア  
。星 かげ さ や か に  
。お お プ レ ネ リ

ドイツ民謡  
松田稔 作詞・編曲  
スイス民謡  
飯塚正 作詞  
作詩者不明  
長谷川新一 編曲  
スイス民謡  
松田稔 作詞  
矢代秋雄 編曲

予科 1・2 合同

指揮 樋口正司  
伴奏 川島敏子

<休 憩>

7. オペレッタ

「森の音楽会」  
配役 子うさぎ フーグムコ  
子うさぎ パロチ  
子うさぎ パチ  
狸のおじさん  
森の仙女  
小女 鹿  
小鳥 たち  
森の動物たち  
助演 た か

鈴木西宮善三郎原作  
西宮野上嘉太郎作曲  
野上部長谷俊収啓之彦  
山藤出原山真健茂昭  
吉田中山光康則明  
山手本典明  
横手藤 満

本科 A 組

演出 永柴良曉  
伴奏 吉田泉

8. 日本の歌

。夕 日  
。七 つ の 子  
。浜 辺 の 歌  
。ハ イ キ ン グ

葛原しげる作詞  
室崎琴月 作曲  
長谷川新一 編曲  
野口雨情 作詞  
本居長征 作曲  
牛腸征司 編曲  
林成田古溪 作詞  
長谷川新一 編曲  
藪田義雄 作詞  
平井康三郎 作曲

本科 B 組

指揮 寺西秀夫  
伴奏 佐々木美恵子

9. レパートリーから

。シューベルトの子守歌  
。美しく青きドナウ

本科 A・B 組 合同

指揮 樋口正司  
伴奏 吉田泉